

熊本県立劇場 令和元年度（2019年度） 指定管理者 管理運営評価票
 所管部局：企画振興部地域・文化振興局文化企画・世界遺産推進課

I 施設の管理概要

指定管理者名	公益財団法人熊本県立劇場
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設概要	1 目的:県民の文化の振興 2 施設概要 ・コンサートホール 収容定員 1,810人 ・演劇ホール 収容定員 1,172人 ・大会議室 収容人員 162人（机・椅子使用時）、380人（椅子のみ使用時） ・その他 和室、リハーサル室、第1～3練習室 駐車場(普通車490台、バス5台)、駐輪場(約150台)
指定管理料	417,167,000円(令和元年度分)

II 管理運営の評価

1 管理運営業務の水準

管理業務の水準の指標	目標値	実績値	差	備考
県劇入場者数	540,000人	501,993人	△38,007人	対前年度 +116,691人
文化事業入場者・参加者数	41,250人	43,198人	1,948人	対前年度 △4,849人
コンサートホール利用率	73%	64.1%	△8.9ポイント	対前年度 △12.1ポイント
演劇ホール利用率	81%	71.1%	△9.9ポイント	対前年度 △13.3ポイント

2 管理運営業務実施状況

(1) 施設維持管理業務実績

作業項目			実施頻度	備考
業務名	業務内容			
清掃業務	日常清掃	事務室等6項目	使用のつど ~ 1回/1~2日	仕様書に沿って適正に実施 工事期間等は除く。以下同じ
	定期清掃	事務室等4項目	2回/月 ~ 4回/年	仕様書に沿って適正に実施
高所清掃業務	ガラス清掃	—	4回/年	仕様書に沿って適正に実施
水質管理	水質検査(市水)	残留塩素測定等3項目	1回/週~年	検査結果問題なし
	水質検査(井水)	定期検査	1回/週~年	検査結果問題なし
	受水槽等清掃		1回/年	仕様書に沿って適正に実施
環境測定	空気環境測定	40カ所	6回/年	測定結果問題なし
衛生管理	特定建築物維持管理実績報告		1回/月	仕様書に沿って適正に実施
	害虫駆除		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
	汚水ピット清掃		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
	ソーラー蓄熱槽清掃		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
警備業務	常駐警備業務		全日	仕様書に沿って適正に実施
	駐車場整理用務		必要時	仕様書に沿って適正に実施
設備維持管理	総括管理、運転監視、日常 巡視点検	設備40項目	1回/週~8回/年	点検結果問題なし
	高圧受電設備保安点検		1回/年	点検結果問題なし
	非常用発電機	法定点検等2項目	1~2回/年	点検結果問題なし
	電気設備点検	法定点検等4項目	1~2回/年	点検結果問題なし
	空調設備保守点検	ヒートポンプチラー等 16項目	1/月~4回/年	点検結果問題なし
	中央監視装置・自動制御機 器保守点検		中央監視装置総合1回/年 空調機器1回/年 他	点検結果問題なし
	昇降設備保守	エレベーター4基	4回/年	点検結果問題なし
	消防用設備保守点検		総合点検1回/年 外観点検2回/年 他	防煙垂れ壁修繕済
	特定防火対象物報告		1回/年	仕様書に沿って適正に実施
	自動ドア保守点検		3回/年	点検結果問題なし
	煤煙測定業務		2回/年	仕様書に沿って適正に実施
	給湯ボイラー保守点検		1回/年	点検結果問題なし
	緊急ガス遮断装置保守点検		2~3回/年	点検結果問題なし
その他の設備 維持管理	有料駐車機保守点検		4回/年	点検結果問題なし
	施設予約管理システムソフト 保守		問題発生時	仕様書に沿って適正に実施
	舞台吊物保守点検		3回/年	経年劣化のため要更新
	舞台迫り保守点検		3回/年	大部分の部品交換要検討
	舞台照明システム保守点 検		2回/年+問題発生時	点検結果問題なし
楽器類保守点 検	ピアノ	4項目	1回/年+(調律3回/年)	大会議室ピアノ弦全張替
	チェンバロ		1回/年	点検結果問題なし
一般廃棄物	廃棄物処理業務		日曜、祝祭日を除く毎日	仕様書に沿って適正に実施
植栽等管理	樹木管理業務	駐在作業等9項目	随時~3回/年	仕様書に沿って適正に実施
その他	トイレ洗浄器		1回/2ヶ月	仕様書に沿って適正に実施
	玄関マット等		1回/2週	仕様書に沿って適正に実施
	貸植木		1回/月	仕様書に沿って適正に実施
【点検・調査結果及び評価】 ・維持管理業務は適正に実施されており、安全・清潔・快適な劇場の施設・設備の提供が行われた。				

(2) 文化事業の実績

I 創造拠点事業

1) 実演芸術に係る人材の育成を行う事業

期 日 会 場	事業名	概 要	入場者 (人)
劇場人育成プログラム			
7/20(土) ～R2.1/11(土) 中会議室ほか	舞台芸術制作 セミナー (全12回)	舞台芸術に興味のある学生や社会人のほか公共ホール職員を対象にセミナーを実施。外部講師を招き「舞台芸術公演を支える専門的職能」や舞台芸術公演の制作について学んだ。	123
通年 山鹿市民交流 センターほか	公立文化ホール 支援・各種研修	熊本県公立文化施設協議会の職員を対象に、施設運営や自主文化事業について学ぶ研修会を実施した。	—
行くぜ！劇場探検隊 2019			
8/9(金) 演劇ホール	行くぜ！ 劇場探検隊 2019 (全2公演)	劇場や舞台芸術に興味をもってもらうため、夏休みの子ども向け企画として実施。参加者は、劇団きららの団員が扮する探検隊チームの一員として舞台裏を探検し、音響機材・照明機材の操作など舞台の仕事を体験した。チケット完売。	54
第61回熊本県芸術文化祭オープニングステージ「大地のうた」			
9/1(日) 演劇ホール	芸文祭オープ ニングステージ 「大地のうた」	総合演出に尺八演奏家の藤原道山を迎え、熊本の民謡をテーマとした演奏会を実施。熊本県の民謡から全国の民謡までバラエティに富んだプログラムとなった。	808
8/8(木)、 8/16(金) 音楽リハーサ ル室ほか	本番に向けての 練習	藤原道山らを招き、地元民謡団体や舞踊団体が稽古を行った。	120
第62回熊本県芸術文化祭オープニングステージ準備事業			
12/7(土) ～8(日) 演劇リハーサ ル室	島崎徹バレエ ワークショップ	国際的な振付家、島崎徹によるバレエワークショップを開催。来年度の芸文祭オープニングステージのオーディションを兼ねており、2つのコンテンポラリー作品の出演者を選出した。	111
R2.1/7(火) ～2/9(日) 演劇リハーサ ル室ほか	島崎徹作品の 振り写し①～⑨	第62回熊本県芸文祭で演出を務める島崎徹のアシスタント2名(本間紗世、服部千尋)による「Here We Are!」と「The Absence of Story」の振り写し。	166
R2.2/2(日) 演劇リハーサ ル室	佐藤想美バレエ ワークショップ	元牧阿佐美バレエ団ソリストの佐藤想美によるワークショップ。佐藤が8月の芸文祭の新作バレエ振付をするにあたり開催されたもので、参加者は本番にも出演する。	52
R2.2/11(火)、 2/12(水) 演劇リハーサ ル室	佐藤想美作品の 振り写し①～④	佐藤想美による新作バレエの振り写し。グループ毎に細かく区切りながら進行した。	104

お気に召すまま			
9/11(水) 演劇ホール	お気に召すまま	熊林弘高演出によるシェイクスピア作品を上演。満島ひかり、坂口健太郎ら豪華俳優陣が顔を揃えた。チケット完売。	1,094
東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト			
R2.3/1(日) 音楽リハーサル室	東京藝術大学音楽学部早期教育プロジェクト	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東京藝大と協議した結果中止。	—
創造拠点事業 1) 計			2,632

2) 地域の公立文化施設や文化団体を支援する事業

期 日 会 場	事業名	概 要	入場者 (人)
アートキャラバンくまもと			
4/14(日) コンサート ホール	くまモン音楽祭	熊本日日新聞社、(一社)FOR KUMAMOTO PROJECT との共催事業。佐渡裕指揮、スーパーキッズオーケストラによる演奏のほか、地元中高生との共演も実現した。	1,693
5/28(火) ~30(木) 10/20(日) ~22(火) つどいの広場 とんとんほか	アートキャラバンくまもと	日本フィルハーモニー交響楽団と協働で復興支援のミニコンサートを企画。益城町つどいの広場とんとん等 10 か所で演奏した。	700
通年 益城町木山座	ましきっず支援	熊本地震で被災した子どもたちの心の復興を目指し、毎月定期的にワークショップを実施した。	679
通年	ぴっころシート	県内企業からの協賛を得て、県内の児童養護施設の子どもたちおよび里親家族に公演への招待を実施。「めにみえない みみにしたい」「栗コーダーカルテット ファミリーコンサート」に 7 施設と 3 家族の計 108 人を招待した。	事業に 計上

期 日 会 場	事業名	概 要	入場者 (人)
ネットワーク事業			
4/28(日) 八千代座	野村万禄と狂言 を楽しむ会	能楽師の野村万禄による狂言公演。狂言の歴史解説や見どころの説明の後、「柿山伏」と「附子」を披露した。	103
6/23(日) 荒尾総合文化 センター	野村万禄 はじめての狂言		315
5/19(日) 菊池市泗水 ホール	三遊亭好楽 落語会	人気テレビ番組「笑点」に出演中の三遊亭好楽による落語会。熊本県益城町出身の三遊亭好吉は「みそ豆」「ねずみ」、好楽は「めぐすり」を披露した。チケット完売。	432
7/18(木) 天草市民 センター	藤原道山× SINSKE	尺八演奏家の藤原道山と、マリンバ奏者の SINSKE によるコンサート。「昭和」をテーマに、歌謡曲や懐かしい CM ソング、クラシック曲を演奏した。	226
9/21(土) 菊陽町図書館 ホール			371
10/14(月) 美里町文化 交流センター ひびき	熊本交響楽団	指揮にタラス・デムチシンを迎え熊本交響楽団公演を実施。オーケストラの名曲のほか「パイレーツ・オブ・カリビアン」など映画音楽も演奏した。観客は聴き馴染みのある曲に大いに盛り上がった。	341
11/2(土) 山鹿市民 交流センター	栗コーダーカル テット	NHK-E テレ「ピタゴラスイッチ」の番組で音楽を担当する栗コーダーカルテットによるコンサート。プログラムは、聴き馴染みのある曲目で構成されており、観客は音楽に合わせて身体を動かしながら楽しんだ。	310
11/6(木) 水俣市文化 会館	和楽器演奏集団 「独楽」	和太鼓・箏・三味線・笛・唄のコンサート。一般客のほか、水俣高校の全校生徒が鑑賞した。楽器の説明や体験コーナーを通して、客席が一体となって盛り上がった。	534
R2. 1/26(日) 牛深総合セン ター	あべや	邦楽集団あべや 5 人組の演奏会。全国に伝わる民謡のほか、オリジナル曲を披露。「牛深ハイヤ節」では会場から手拍子や掛け声がかかり、満席となった観客と舞台が一体となって大いに盛り上がった。	297
R2. 3/4(水) ながす未来館	三遊亭好楽 落語会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ながす未来館から申し入れがあり、協議した結果中止。	—

期 日 会 場	事業名	概 要	入場者 (人)
芸術家派遣コーディネート事業			
6/16(日) 熊本近代文学館	菊池恵楓園 心の朗読会	熊本県が主催する「ハンセン病に対する偏見や差別の解消を図る普及啓発事業」の一環として企画。 菊池恵楓園入所者作の詩の朗読に合わせ、フルートと箏の演奏を行った。	70
10/17(木) コンサート ホール	附中文化の日 芸術鑑賞会	野村万禄による狂言の上演。 「柿山伏」、「附子(ぶす)」と解説・体験講座を交えた鑑賞会を行った。体験講座では6名の生徒が参加した。	509
共催事業			
10/25(金) コンサート ホール	京&三勇士 デュオ・リサイタル	熊本県出身でショパン国際ピアノコンクールに出場した有島京と国内外で幅広い分野で活躍する金子三勇士によるリサイタル。	920
11/2(土) コンサート ホール	第58回熊本県 新人演奏会	8月に行われたオーディションで選ばれた熊本県出身または在住の演奏家11名(ピアノ6名、声楽1名、管弦打楽器4名)による演奏会。	451
12/22(日) コンサート ホール	熊本県民第九の 会 第36回演奏会	指揮者は、第34回以来2度目の登場となる松井慶太。赤池優(ソプラノ)、山下牧子(メゾ・ソプラノ)、土崎譲(テノール)、小林由樹(バリトン)をソリストに迎えた。第4楽章では、託麻原小学校の児童11名を含む、合唱団220名が「歓喜の歌」を歌いあげた。	1,301
文化活動支援事業			
通年	文化活動 支援事業	県内で活動する文化団体に、県立劇場の会場費を助成する事業。当該年度は4団体助成の予定だったが、うち1団体は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。	3,935
熊本文化プログラム			
8/15(木) 演劇ホール ホワイエ	県劇盆踊り	台風10号の影響により中止。	—
9/28(土) コンサート ホール	スポーツと音楽 オーケストラ コンサート	熊本開催の2つの国際スポーツ大会を音楽で盛り上げようと企画。指揮に茂木大輔、演奏に九州交響楽団を迎え、スポーツをテーマにしたコンサートを実施した。	625

期 日 会 場	事業名	概 要	入場者 (人)
9/24(火)～ 館内・情報回廊	情報回廊展示等	熊本開催の2つの国際スポーツ大会をアートで盛り上げようと、熊本デザイン専門学校の建築・インテリアデザイン科が作品を製作し展示したほか、館内に女子ハンドボール世界選手権大会の幟を設置し、大会のPRに努めた。	10
10/8(火)、 9(水)、11(金) 花畑広場	ラグビーワールド ドカップ ファンゾーンス テージ	県立劇場がコーディネートした地元の伝統芸能団体が出演。「日本舞踊協会熊本県支部」「牛深ハイヤ保存会」「山鹿灯籠踊り保存会」「菊池千本槍」が会場を盛り上げた。	750
12/1(日) 熊本県立美術 館	美術館 コンサート	熊本県立美術館の特別展「熊本城と武の世界」の関連企画として実施。出演は箏奏者の小路永和奈、小路永こずえ、フルート奏者の吉永洋子の3名。和と洋のコラボレーションを披露した。	160
通年	熊本文化プログラ ム支援事業	beyond2020 プログラム、東京2020文化オリンピックの認証を受けている県内各地域の文化活動を支援。8事業に助成した。	7,601
創造拠点事業 2) 計			22,333

3) 伝統芸能の継承と発展を支援する事業

伝承芸能普及事業（清和文楽育成）			
12/5(木) ～12/27(金) 全6回 清和文楽館	三番叟指導	「寿式三番叟」上演のための研修会を開催。三味線・笛・太鼓の講師3名を招き、清和文楽の里協会の職員6名が上演に向けた練習を行った。	33
R2.2/5(水) ～2/7(金)	アウトリーチ プログラム作成	淡路人形座から太夫、三味線、人形遣いの3名が講師として来熊し、2日間清和文楽館でアウトリーチプログラムを作る研修を実施。7日は、熊本市立大江小学校の4年生に90分間の模擬アウトリーチを行った。	141
伝承芸能発信事業			
通年	伝承芸能発信 事業	県内における伝統文化・伝承芸能活動の調査事業として、館長が現地へ出向き各地の現状と課題を取材。水俣・芦北地域、阿蘇市、山鹿市、天草市、宇城市、宇土市を訪問した。	—
創造拠点事業 3) 計			174

II 普及拠点事業

1) 実演芸術を鑑賞する機会を県民に提供する事業

期 日 会 場	事業名	概 要	入場者 (人)
ウィーン少年合唱団			
6/6(木) コンサート ホール	ウィーン少年 合唱団	世界的に人気と実力を誇る同合唱団(ブルックナー組)による公演。鶴屋百貨店と3回目の共同企画公演。チケット完売。	1,744
めにみえない みみにしたい			
8/20(火) ～8/21(水) 演劇ホール 舞台上	めにみえない みみにしたい (全3公演)	次代を担う若手演劇作家の藤田貴大が初めて手がける子どもから大人まで楽しめる演劇公演を、舞台上特設ステージで実施。チケット完売。	357
8/19(月) 演劇 リハーサル室	《関連企画》 地図のワーク ショップ	藤田貴大による小学生対象のワークショップを実施。	9
チェコ・フィルハーモニー管弦楽団			
10/29(火) コンサート ホール	チェコ・フィル ハーモニー管弦 楽団	セミヨン・ビシュコフ指揮によるチェコ・フィルハーモニー管弦楽団の公演。スメタナ作曲の連作交響詩「わが祖国」全曲を披露した。	1,111
共催事業			
9/21(土) 演劇ホール	第二十二回 熊本「万作・萬齋 の会」	野村萬齋の長男、裕基の「蚊相撲」、万作の話芸「奈須与市語」、萬齋による「博奕十王」を上演した。	996
12/17(火) 12/18(水) 演劇ホール	劇団四季ミュー ジカル 「エビータ」	アンドリュー・ロイド＝ウェバー作曲による、元アルゼンチン大統領夫人エバ・ペロンの人生を描いたミュージカル作品。昨年7月に死去した浅利慶太の追悼公演。同氏が初演日本版演出を手掛けた。ラテン音楽の要素を取り入れた音楽やダンスで観客を魅了した。	2,148
普及拠点事業 1) 計			6,365

2) 芸術文化に触れる機会を県民に提供する事業

期日 会場	事業名	概要	入場者 (人)
オハイエくまもと協力事業			
6/2(日) コンサート ホール	音楽がつなぐ 命のコンサート	オハイエくまもと設立 10 周年記念 コンサートを実施。	1,550
R2. 1/26(日) 障がい者福祉 センター 希望荘	片岡祐介ワーク ショップ	3 月 22 日開催の「とっておきの音楽祭」に向けて、音楽家の片岡祐介を演奏指導として派遣した。	75
R2. 3/22(日) 熊本市現代 美術館	第 11 回とってお きの音楽祭	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	—
劇場って楽しい！！ in 熊本			
6/19(水) 中会議室	鑑賞支援コー ディネーター 育成講座	「劇場って楽しい！！」の事前研修。知的障害や発達障害の特性やサポート方法を学んだ。	14
10/5(土) 演劇ホール	劇場って 楽しい！！ 〔映画編〕	知的・発達障がい児（者）に向けた劇場体験プログラムの 1 回目。国際障害者交流センタービッグ・アイの制作で「ひつじのショーン」「パンダコパンダ」を上映した。	190
11/9(土) 演劇ホール	劇場って 楽しい！！ 〔コンサート編〕	知的・発達障がい児（者）に向けた劇場体験プログラム 2 回目。県立劇場協力アーティストのチアーズトリオによるコンサートを実施。解説を交えながら楽しく進行した。米津玄師/パプリカでは観客もダンスを楽しんだ。	163
地域をむすぶアートプロジェクト～高齢者編～			
7/8(月)、 8/26(月)、 10/19(土) 碩台地域 コミュニティ センター	認知症声掛け ワークショップ (全 3 回)	10 月に実施する認知症声掛け訓練に向けて、認知症の方を受け入れ、上手な関わり方などを実践で学んだ。	134
10/20(日) 子飼商店街	認知症声掛け 訓練	「認知症を学び、地域で支えよう」を目的に、黒髪校区・碩台校区が合同で認知症声かけ訓練を実施。俳優で介護福祉士の菅原直樹氏をファシリテーターとして派遣した。	110

期 日 会 場	事業名	概 要	入場者 (人)
文化芸術による子供の育成事業			
9/2(月)～ R2.1/24(金) 各学校	氷川町立宮原 小学校 玉名市立高道 小学校 熊本県立八代 農業高校泉分校 荒尾市立中央 小学校	各学校の課題に対し教員と相談しながら演劇的手法を用いた計画的なワークショッププログラムを実施し児童の育成を図った。実施にあたっては、劇場コーディネーターが間に入り、芸術家、学校の設置者である地域の教育委員会、学校の担当教員と連携・協力を図る体制をつくり教育課程に位置づけて行った。	737
演奏家派遣アウトリーチ事業			
10/7(月)、 10(木)、11(金) あさぎり町	あさぎり町立 岡原小学校 須恵小学校 免田小学校 上小学校 深田小学校	小学校 5 校で県立劇場協力アーティストの緒方愛子（ヴァイオリン）、亀子政孝（コントラバス）2 名によるアウトリーチを 6 コマ実施。	221
R2.1/15(水) ～1/17(金) 荒尾市	荒尾市立 清里小学校 八幡小学校 第一小学校	小学校 3 校で県立劇場協力アーティストの村田貴洋（サクソフォン）によるアウトリーチを 5 コマ実施。	163
R2.2/14(金) ～2/27(木) 益城町	益城町立 広安小学校 津森小学校 飯野小学校 益城中央小学校 広安西小学校	小学校 5 校で県立劇場協力アーティストの緒方愛子（ヴァイオリン）、亀子政孝（コントラバス）、山本亜矢子（ピアノ）によるアウトリーチを 11 コマ実施。	387
普及拠点事業 2) 計			3,744

Ⅲ 市民会館事業

期日 会場	事業名	概要	入場者 (人)
熊本文化プログラム			
9/21(土) ～22(日) 花畑広場	ラグビーワールド ドカップファン ゾーンステージ	台風 18 号の影響によるファンゾーンステージでの全イベント中止に伴い、予定していた日本舞踊、新町獅子舞、箏の演奏が中止。	—
邦楽新鋭展			
11/24(日) 演劇ホール	邦楽新鋭展 Vol. 5	くまもと全国邦楽コンクール最優秀賞受賞者 12 名が一堂に会しての演奏会。独奏や合奏など全 10 曲を披露した。	554
11/10(日) 熊本市現代 美術館	関連企画 「箏 LIVE」	新進気鋭の箏アーティスト LEO による箏コンサートを実施。熊本出身で東京藝術大学在学中の清原晏や、熊本箏演奏者協会の 6 名との共演も披露した。	125
劇団四季「はだかの王様」			
R2. 2/4(火) ～6(木) 熊本市市民会館	はだかの王様	(一財) 舞台芸術センターと劇団四季による社会貢献活動「こころの劇場」として、熊本市内の小学 6 年生を招待し、5 回の公演を実施した。	6,897
KUMAMOTO JAZZ 2020			
R2. 3/10(火) 熊本市市民会館	KUMAMOTO JAZZ 2020	新型コロナウイルス感染症への熊本市及び県の方針に従い、公演中止。	—
R2. 3/11(水)	関連企画 「益城町立広安 西小学校ミニコ ンサート」	復興支援の学校公演を実施する計画だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため本公演と併せて中止。	—
文化芸術による子供の育成事業			
11/12(火)～ R2. 1/9(木) 各学校	熊本市立田底 小学校 熊本市立田迎南 小学校	各学校の課題に対し教員と相談しながら演劇的手法を用いた計画的なワークショッププログラムを実施し児童の育成を図った。 ※熊本市内実施分を市民会館事業として実施。	139
アートキャラバンくまもと			
10/21(月) かがやきの森 支援学校ほか	アートキャラ バンくまもと	日本フィルハーモニー交響楽団と協働で復興支援のミニコンサートを実施。 ※熊本市内実施分を市民会館事業として実施。	235
市民会館事業 計			7,950
総計			43,198

3 施設の利用状況

施設名		令和元年度計	平成 30 年度計	前年度比
	開館日数	336	335	
コンサートホール	利用可能日数	290	269	21
	利用日数	186	205	▲ 19
	利用率	64.1	76.2	▲ 12.1
	入場者数	172,194	205,548	▲ 33,354
演劇ホール	利用可能日数	291	147	144
	利用日数	207	124	83
	利用率	71.1	84.4	▲ 13.3
	入場者数	122,887	77,277	45,610
大会議室	利用可能日数	318	310	8
	利用日数	205	208	▲ 3
	利用率	64.5	67.1	▲ 2.6
	入場者数	30,877	36,925	▲ 6,048
和室	利用可能日数	326	320	6
	利用日数	91	111	▲ 20
	利用率	27.9	34.7	▲ 6.8
	入場者数	1,666	2,988	▲ 1,322
音楽リハーサル室	利用可能日数	323	306	17
	利用日数	225	230	▲ 5
	利用率	69.7	75.2	▲ 5.5
	入場者数	12,906	15,462	▲ 2,556
演劇リハーサル室	利用可能日数	323	308	15
	利用日数	179	186	▲ 7
	利用率	55.4	60.4	▲ 5.0
	入場者数	10,272	12,540	▲ 2,268
第1練習室	利用可能日数	325	308	17
	利用日数	164	159	5
	利用率	50.5	51.6	▲ 1.1
	入場者数	7,652	10,492	▲ 2,840
第2練習室	利用可能日数	327	311	16
	利用日数	227	195	32
	利用率	69.4	62.7	6.7
	入場者数	6,143	9,612	▲ 3,469
第3練習室	利用可能日数	325	311	14
	利用日数	260	247	13
	利用率	80.0	79.4	0.6
	入場者数	7,299	11,694	▲ 4,395
その他の入場者数	入場者数	130,097	2,764	127,333
入場者数 合計		501,993	385,302	116,691

【点検・調査結果及び評価】

・令和元年度は、熊本地震関連の復旧工事や県立劇場保全計画に基づく改修工事も終了し、平成 27 年度以来 4 年ぶりに年間を通しての全館施設利用が可能となった。

・利用状況については、施設の利用者数や利用率、文化事業に係る参加者数など概ね計画どおり順調に推移していたが、令和 2 年 2 月末に県内でも新型コロナウイルス感染者が確認されたことから、両ホール及び大会議室等の催事実施の再検討を施設利用者に要請した結果、施設利用の中止や延期が相次いだため目標達成が困難な状況となったものであり、やむを得ないと考えられる。

4 管理運営経費の収支状況

① 収入		
項目	内 訳	金額(円)
指定管理委託料	管理業務受託収入、事業受託収入	431,467,000
基本財産運用収入	基本財産利息収入	4,002
特定資産運用収入	特別企画事業積立資産利息等	7,811
事業収入	創造拠点事業収入、普及拠点事業収入等	24,322,011
制作受託収入	制作受託収入	7,561,317
広告料収入及び事業協賛金収入	広告料収入及び事業協賛金収入	400,000
補助金等収入	団体助成金収入、市町村負担金収入	29,099,823
寄付金収入	寄付金収入	320,547
雑収入	受取利息収入、雑収入	7,642,536
特定資産取崩収入	特別企画事業積立資産取崩収入等	0
前期繰越収支差額		51,075,459
合 計		551,900,506

② 支出		
項目	内 訳	金額(円)
管理業務支出	人件費支出、維持管理、物件費支出	353,555,981
文化事業費支出	創造拠点事業費支出、普及拠点事業費支出等	123,460,847
投資活動支出	退職給付引当資産取得支出、特別事業積立資産取得支出、文化事業寄付積立資産取得支出等	21,255,558
財務活動支出	リース債務返済支出	4,062,312
次期繰越収支差額		49,565,808
合 計		551,900,506

【点検・調査結果及び評価】

・指定管理委託料について、協定に基づいた劇場の管理運営費、文化事業費に充てるとともに、指定管理委託料以外の収入確保に努め文化事業等に充当するなど、事業運営は適正に行われている。

【使用料の収納実績】

(単位：円)

月	要収入額	収入済額	収入未済額	摘要
(R1) 4	12,042,900	9,665,130		
5	14,345,970	14,363,230		
6	16,443,250	17,097,410		
7	13,861,330	13,812,580		
8	24,018,420	23,245,440		
9	16,564,790	18,481,720		
10	15,133,330	13,709,380		
11	21,353,170	20,286,530		
12	13,832,860	14,019,620		
(R2) 1	14,690,580	15,531,750		
2	9,550,740	10,099,470		
3	6,789,270	8,052,250		
(4)	0	262,100		
年度計	178,626,610	178,626,610	0	うち使用者に返還 4 件 371,570 円

【点検・調査結果及び評価】

・年間を通して、使用許可及び収納事務は適正に行われた。

5 利用者調査結果

(主催者)

調査 実施 内容	調査年月日	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日		
	調査方法	施設利用者を対象にアンケート用紙への記入方式で実施		
	調査対象数	58 団体		
評価項目(4 段階評価)			満足度(平均値)	
			元年度	30 年度
1 利用料金について(4:安い 3:やや安い 2:やや高い 1:高い)			2.70	2.65
2 利用手続きについて(4:円滑 3:おおむね円滑 2:やや煩雑 1:煩雑)			3.65	3.75
3 フロア職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.98	3.98
4 ステージ職員の接客態度や対応について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.90	3.89
5 舞台・音響・照明について (4:良い 3:概ね良い 2:あまり良くない 1:良くない)			3.95	3.84
6 また利用したいと思うか (4:是非利用したい 3:利用してもいい 2:あまり利用したくない 1:もう利用したくない)			3.98	3.93
計			3.69	3.67
利用者からの 意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・事前打ち合わせから、変更、本番まで丁寧に対応していただき感謝。 ・フロアスタッフのサポートが的確でわかりやすかった。 ・舞台・音響・照明設備、それぞれのスタッフに舞台づくりを盛り上げていただいた。 ・次年度以降も利用したい。 		

【調査結果及び評価】

・例年同様の傾向であり、利用者の立場に立った劇場運営に努めており、利用者の満足度は概ね高いと評価できる。

(来館者)

調査 実施 内容	調査年月日	平成31年4月1日～令和2年3月31日									
	調査方法	来館者を対象にアンケート用紙への記入方式で実施									
	調査対象数	1,711人(ウィーン少年合唱団公演等7事業)									
調査 結果	調査分野	回 答 内 容									
		大変満足		満足		やや不満足		不満足		分からない	
		回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
	内容	1,139	73.8%	370	23.9%	21	1.4%	5	0.3%	8	0.5%
	チケット料金	457	42.1%	529	48.7%	59	5.4%	7	0.6%	34	3.1%
	開演、終演時間	744	46.7%	747	46.9%	76	4.8%	13	0.8%	13	0.8%
	スタッフ対応	717	45.1%	785	49.3%	41	2.6%	4	0.3%	44	2.7%
	公演情報の入手	499	31.5%	762	48.1%	190	12.0%	36	2.3%	98	6.1%
	鑑賞マナー	452	29.4%	766	49.7%	227	14.7%	71	4.6%	25	1.6%
	計	4,008	44.8%	3,959	44.3%	614	6.9%	136	1.5%	222	2.5%
利用者からの意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・3Fでしたが、マイクなしで後ろまで声が美しく響いて、演者の良さと、会場の良さが相まってとても満足だった。(ウィーン少年合唱団) ・長い上演時間をものともせず、大変楽しめた。(お気に召すまま) ・めったに聴けないプログラムでとてもよかった。(チェコフィル) ・熊本の民謡を、生の歌声、演奏で聴けてとても感動した。(芸文祭) 									
【調査結果及び評価】 ほとんどの質問項目において9割以上の方が「大変満足」、「満足」と回答し、高い評価を得ており、特に事業内容、スタッフの対応についての満足度が高い。一方、昨年同様「公演情報の入手」に関しては同割合が8割程度に留まっており、幅広い層に公演情報を伝えるための広報面の工夫やニーズに対応したチケット提供手段の工夫が更に求められる。また、鑑賞マナーについても同割合が8割程度であり、現在も、催事の際に鑑賞マナーに関するアナウンスやチラシ配布などの取組みを行っているが、引き続き周知啓発に努めていく必要がある。											

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
駐車場に関すること（満車時の対応、入出庫時の混雑、等）	<ul style="list-style-type: none"> ・劇場ホームページ等を利用した満車情報の発信、主催者への協力依頼（ポスター、チケット等への情報刷込）、誘導員の配置等により混雑緩和に努めた。 ・県と連携し、車道信号及び歩行者信号の時間調整が行われ、劇場への右折進入がしやすくなった。
喫煙所の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進法の一部改正に伴い、敷地内2か所に喫煙所を設置
【調査結果及び評価】 ・利用者からの苦情に対してすぐに事実確認、分析、組織内での情報共有を行うとともに相手方への即時対応、再発防止に向けた取り組み、県所管課への報告等、適正な施設管理運営に努めている。	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
協賛企業の確保等、多様な財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から情報収集に努め、国等の助成金や企業の協賛金等を積極的に確保している。また、今後の財源確保の一助となる先行予約会員制度を発足させ、チケット先行予約販売を実施するなど新たな取り組みを行っている。

8 その他

熊本県立劇場条例に定める公の施設の設置目的等の達成度

【評価の基準】

- A：持続・更なる向上が期待できる状態
- B：ステップアップが望まれる状態
- C：見直しが必要な状態
- D：抜本的な見直しが必要な状態

【選定の特例（非公募）を適用する目的となった重点的な評価項目の達成度】

（1）人材の育成、確保

■評価項目①：実演芸術を担う人材の育成、確保

評価	理由
A	実演芸術を担う人材を育成するため、第4期の取組み事項としての人材育成プログラムを策定し、計画的・体系的な研修により、アートマネジメントや舞台芸術に携わる人材の育成、活用に取り組んでいる。また、未来の実演芸術を担う青少年のためのワークショップの実施や地域の伝承芸能を保存・継承するための事業を実施するなど、幅広く人材育成につながる事業を展開している。

(2) 関係機関等との連携

■評価項目②：実演芸術の振興のための県内各施設や関係機関との連携

評価	理由
A	県の中核施設として、県内全域の文化振興と舞台芸術のレベルアップを図るため、県内公立文化ホール等へのスタッフ派遣指導や受入研修などを行うとともに、県内文化団体や教育委員会、学校や文化団体等、関係機関と連携した催事等の企画運営を積極的に行うなど、本県の実演芸術の振興に努めている。

【運営方針に定める項目の達成度】

(1) 質の高い事業の実施

■評価項目①：質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	運営方針に基づき、昨年度に年間プログラムを策定し、計画に沿って事業を進めている。本格的なクラシック音楽に触れる機会の提供として、ウィーン少年合唱団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団公演など一流のアーティストによる公演を実施している。

■評価項目②：特色ある自主企画事業の実施

評価	理由
A	熊本地震から3年を迎えるにあたり開催した、「子どもが主役の復興音楽祭・くまモン音楽祭」や第61回熊本県芸術文化祭における「民謡」をテーマにした公演、県立劇場のバックステージツアーなど特色のある企画事業に取り組み、催事参加者アンケートにおいて9割以上の方から満足との高評価を得ている。

(2) 普及啓発

■評価項目③：児童、生徒、学生等に対する質の高い実演芸術に触れる機会の提供

評価	理由
A	県立劇場主催の文化事業において、25歳以下の学生料金の設定や託児サービスの実施を行っている。 また、親子向けの催事や子ども向けのワークショップの開催等に積極的に取り組むとともに、教育委員会と連携しての学校への広報などを行い、児童生徒などが実演芸術に触れる機会の創出に努めている。

■評価項目④：実演芸術の理解を一層深めるための付随事業の実施

評価	理由
A	県立劇場主催の公演の付随事業として、公演についての理解を深めるための事前ワークショップやミニコンサート、中高生等との吹奏楽共演を行うための事前練習を実施するなど、各方面で実演芸術の理解を深めるための付随事業の実施に努めている。

■評価項目⑤：アウトリーチ事業の実施

評価	理由
A	小学校へのアウトリーチ事業のほか、アートキャラバン事業による特別支援学校や高齢者施設など、対象者が異なる複数のアウトリーチ事業を実施している。 なお、アウトリーチの実施にあたっては、受け入れ先、関係機関及びアーティストと協働で年間のプログラムを企画・立案し、計画的かつ効果的な事業の実施に努めている。

■評価項目⑥：国内外で活躍する熊本県出身芸術家等との連携

評価	理由
A	本県の実演芸術の振興全般にわたって、県内外で活躍する熊本県出身または在住の芸術家等との連携に努めている。 ラグビーワールドカップ世界大会においては、ファンゾーンのステージをコーディネートし、県内の文化団体の起用等を行い文化振興に努めている。

■評価項目⑦：日常的に人々が集い自由に文化芸術に触れることができるための工夫

評価	理由
A	開かれた劇場を目指し、広報誌「ほわいえ」を刷新、ホームページをリニューアルするなどして劇場の情報提供に努めるなど、より親しみやすい劇場づくりに取り組んでいる。 実演芸術の振興のための協力を行うため、高等教育機関と包括連携協定を締結し各種事業を実施している。 そのほか、熊本都市バスとの連携を図り臨時路線バスを手配するなど、来館者の利便性の向上に努めている。

(3) 経営の安定化

■評価項目⑧：協賛企業の確保等、多様な財源の確保

評価	理由
A	文化庁や地域創造等からの助成金のほか、企業や団体からの制作受託費の受け入れ、民間企業との共同企画等により、多様な財源の確保に努めている。 令和元年度から先行予約会員制度を発足させた点は、これまでの課題であった賛助会員制度等の構築につながる取組みとして評価できる。

■評価項目⑨：公演実施者及び鑑賞者の拡大に向けた取組みの実施

評価	理由
A	チケット販売に係る営業活動等の取組みや、コンシェルジュ制度の導入による利用者へのサービス向上により公演事業者からも高い評価を受けている。 付帯事業の充実等により初心者呼び込むとともにリピーターを増やすための積極的な取組みが行われており、鑑賞者の拡大に向けた取組みも行われている。 アンケートを実施し、課題や問題点を洗い出し、スタッフ間で情報共有してその後の円滑な運営に繋げている。

(4) 安全管理

■評価項目⑩：災害時等における事業継続計画の策定、避難訓練等の実施

評価	理由
A	施設の特性を踏まえて策定された「熊本県立劇場 危機管理マニュアル」の充実を図り、災害発生時には、財団職員のみならず催事主催者とも協力体制がとれるよう運用を行っている。 また、委託業者も含めた全劇場職員で、地震訓練、消防訓練等のほか、各種研修を行い、危機管理対策に努めている。

■評価項目⑪：災害等の非常時における避難者への対応

評価	理由
B	災害等の非常時において緊急的に県立劇場への避難が必要となった一般県民等に対し、避難場所として休憩スペースやトイレ等の提供を行う方針であり、劇場職員と主催者が協働して発災時に対応できる体制を整えている。 今後、県や熊本市と連携しながら、避難者への対応を想定したマニュアルを作成すること。

(5) 適切な評価基準の設置と事業評価の実施、翌年度計画への確実な反映

■評価項目⑫：自己評価の実施

評価	理由
A	施設利用者や入場者のアンケート結果のほか、文化関係者等からの意見や様々な情報を収集の上、多方面からの意見を反映して自己評価を行っており、評価の客観性を高めるよう努めている。併せて必要な調査研究も行っている。

■評価項目⑬：県の事業評価結果の事業計画への反映

評価	理由
A	従来からの懸案事項であった「会員制度」の構築に向けて検討を重ね、令和元年度から先行予約会員制度を開始した。 また、県立劇場の運営に関しては、実施したアンケート結果や業務実績等を踏まえ、県との連携のもと改善に取り組んでいる。